

平成 29 年 2 月 27 日

千葉県本部
支部長・団体長のみなさんへ

総本部通知についての千葉県本部の見解

日本空手協会千葉県本部
本部長 阿津和夫

皆さまにはご心配をおかけしております。

すでに総本部草原会長より平 29 年 2 月 15 日付けにて「第 60 回全国空手道選手権の千葉県予選の開催について」の通知書が千葉県本部の阿津本部長、旧新千葉県本部の庄司本部長、支部・団体各位宛送付されております。要旨は、①昨年は千葉県本部が主管したので、今年度の主管は旧新千葉県本部とする。また千葉県本部所属の支部・団体に対し協力をお願いする。②旧新千葉県本部主管の大会を全国大会の予選会を兼ねたものと指定する。との内容です。

この通知書には事実誤認及び一方的な考えが述べられておりますので、このことに対する千葉県本部の見解を記載いたします。

1. 昨年の千葉県大会は阿津和夫が本部長を務める千葉県本部が主管し開催されたと記載されておりますが、ご承知の通り双方の千葉県本部が事前に何回か協議し共同開催したものです。大会役員は会長が千葉県本部の根本功氏、実行委員長は旧新千葉県本部の庄司快栄氏が担当し、それ以外の役員もお互いに話し合いほぼ同数で決定しました。
2. 私たちは千葉県に二つの本部があるのは問題であり、本来はひとつであるべきと考えております。そのため、『千葉県大会は組織が一本化されたうえで開催する』必要があると主張し、下記 3 点の提案を昨年 12 月 19 日 総本部に行いました。
 - (1) 昨年、草原会長が阿津本部長・庄司本部長に提案した人事（案）を受け入れる。
 - (2) 両千葉県本部が一堂に会し支部長会議で決定する。
 - (3) 千葉県本部に所属する全成人会員の選挙により役員人事を決定する。

私たちの提案に対し、総本部の見解を求めました。また、上記以外の見解がありましたら併せてご教示いただけるよう要請しましたが、未だ回答を頂いておりません。

3. また、総本部は平成 29 年度 旧新千葉県本部が主催する千葉県大会を全国大会の千葉県予選とすることを指定しました。そして所属会員に遺漏なく周知するよう要請がありました。現在、千葉県には総本部から認可されました二つの本部が存在しております。理論的には二つの本部は対等であり、一方の本部のみを全国大会の予選と指定する総本部の見解には疑問を持たざるを得ません。全国大会の都道府県別選手出場枠は、それぞれの登録会員数を基に決められております。千葉県に認可された本部が二つ存在する現状を鑑みれば、両本部に登録された会員数に比例した全国大会出場人員が決められるのが道理にかなった方法だと考えております。

これまでの経緯から、総本部は私たちの千葉県大会を認めないことは間違いないと思いますが、今年の全国大会を目指してこられた会員および父兄の皆さまにはこの状況をご理解いただき、宜しくご堪能のほどお願い申し上げます。

記

〔1〕千葉県大会は、5月3日に船橋アリーナで開催します。多くの皆さんが参加され大会を盛り上げたいと思います。

〔2〕当該大会の入賞者を千葉県本部代表選手として選考し、総本部に提出いたします。

以上

* 会員及び父兄の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけいたしますが、今回の千葉県大会はご案内のように全国大会の予選会としての位置づけが認められておりません。全国大会の千葉県代表選手になることを念頭に、この1年空手の稽古に切磋琢磨してこられたことは重々承知しておりますが、結果として、船橋アリーナでの大会は千葉県本部の大会となる可能性が大きいことを、私たち千葉県本部の支部長、団体長が断腸の思いで決断しましたのでご理解をいただきたくお願い申し上げます。